MAX®

ELECTRONIC TIME RECORDER

# 電子タイムレコーダ

# ER-25S

この度は、マックス電子タイムレコーダＥＲ-25Sをお買い上げ頂き誠に有り難うございます。
この説明書は、設定方法・ご使用上の注意等、機械をご使用頂く為に必要な項目につきまして説明してありますので、是非ご一読ください。
お読みになりましたら、身近な場所に大切に保存し、ご活用ください。

## 取扱説明書

目次


1 主な特長…… 1
2 各部の名称…… 2
3 使用上のご注意…… 3
4 時計の合わせ方…… 5
5 締日の合わせ方…… 7
6 始業時刻の合わせ方…… 8
7 終業時刻の合わせ方…… 9
8 印字段変更時刻の合わせ方…… 10
9 西暦年・月・日の合わせ方…… 11
10 チャイムの設定…… 12
11 外部時報の接続…… 14
12 ご使用方法…… 16
13 インクリボンの交換…… 19
14 故障と間違いやすい現象と確認方法…… 21
15 エラーコード…… 21
16 主な仕様…… 22

# 1 主な特長

## 特長①

本機は、年月日･時計を出荷時に合わせてありますので、セットは不要です。締日は初期設定を20日としていますので、20日締の場合は締日のセットも必要ありません。

## 特長②

印字は赤黒の２色で、遅刻・早退・休日を赤で印字します。
（休日は日付と時刻を赤印字、遅刻・早退は時刻とシンボルを赤印字）

## 特長③

日付・時刻の印字のほかにタイムカードが見やすいように、曜日印字、遅刻の『チ』・早退の『ソ』・早出の『ハ』・残業の『ザ』のシンボル印字を行い、途中の外出・再入も記録できます。

| 日付 | 出 | 退 | 出 | 退 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 21月 | 9:48チ | | | 12:08ソ | |
| 22火 | 6:24ハ | 11:58 | 12:49 | 19:38ザ | |

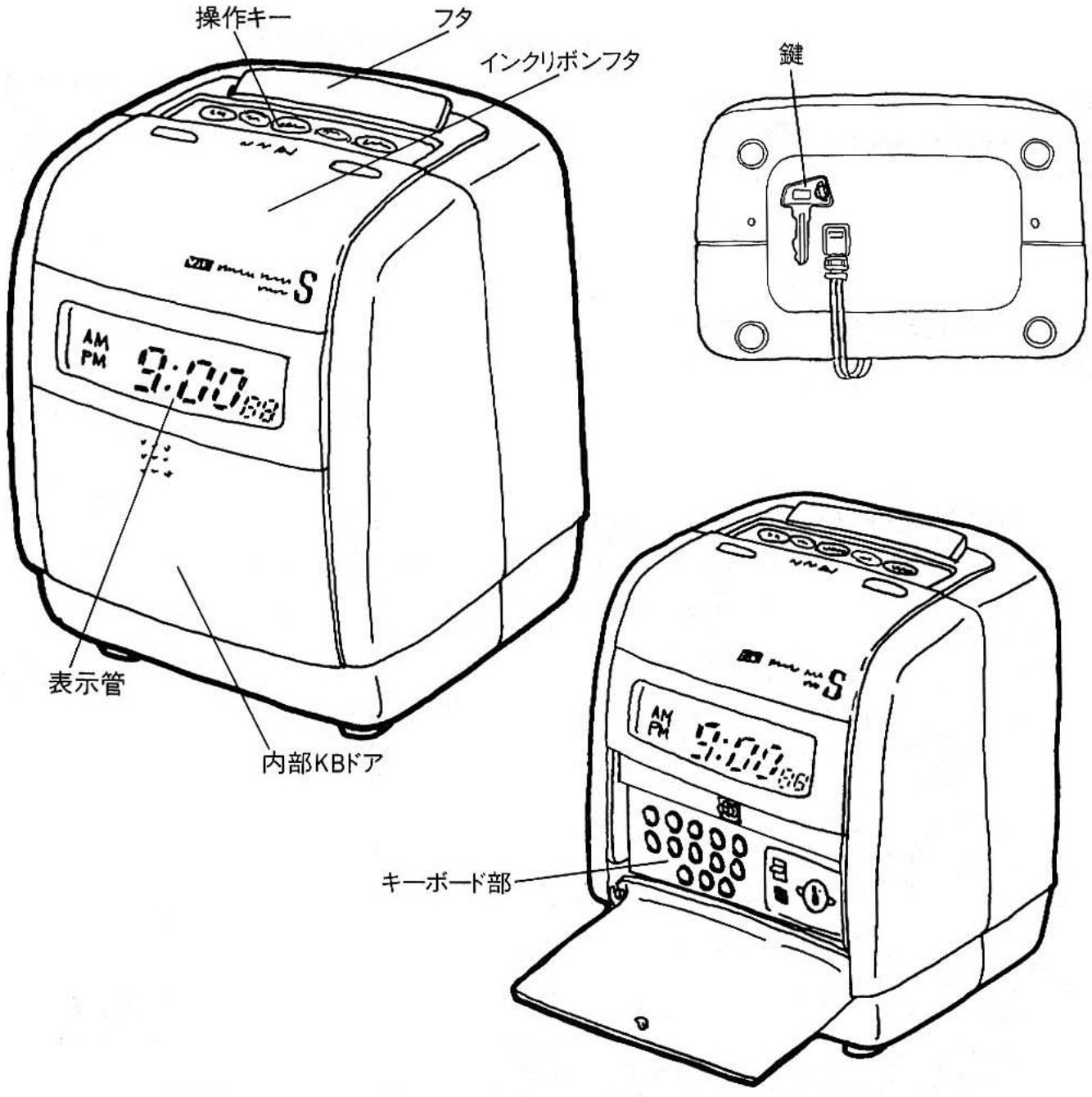
## 特長④

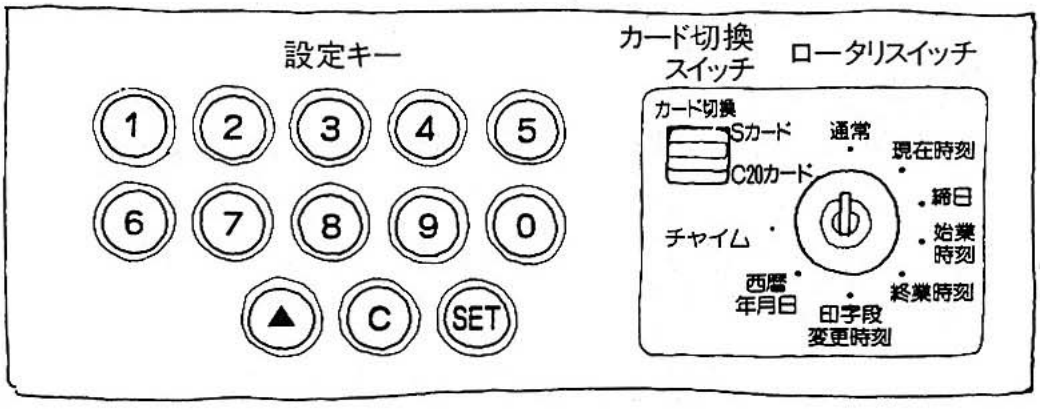
チャイムを最大16時刻まで鳴らすことができます。また、外部のベル・ブザーなどとの接続もできます。

## 特長⑤

コンセントを抜いた状態でも、累計で３年間（工場出荷時より）は、メモリーをバックアップし、時計も進みます。不意の停電があった場合でも、通電した時点でそのままご使用になれます。
但し、停電中は印字できません。

# 2 各部の名称

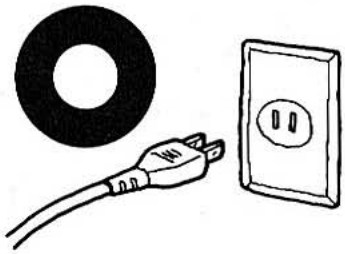

操作キー
フタ
インクリボンフタ
鍵
表示管
内部KBドア
キーボード部


設定キー
1
2
3
4
5
6
7
8
9
0
▲
C
SET
カード切換
スイッチ
ロータリスイッチ
カード切換
Sカード
C20カード
通常
現在時刻
締日
始業
時刻
終業時刻
印字段
変更時刻
西暦
年月日
チャイム

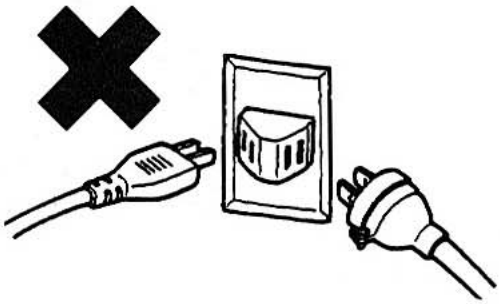
# 3 使用上のご注意

①電源は100V専用コンセントをご使用ください。

大きな容量を必要とする機器とコンセントを共用することはお避けください。



②トラブルの原因となりますので設置する際は、次のような場所を避けてください。

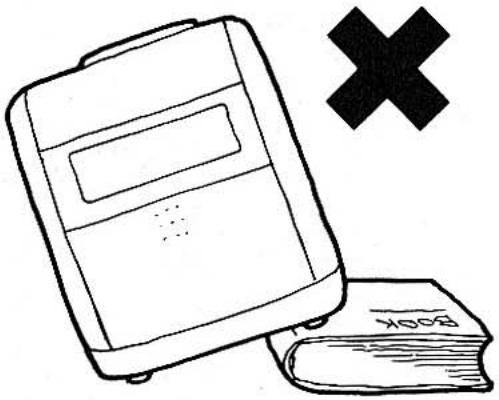


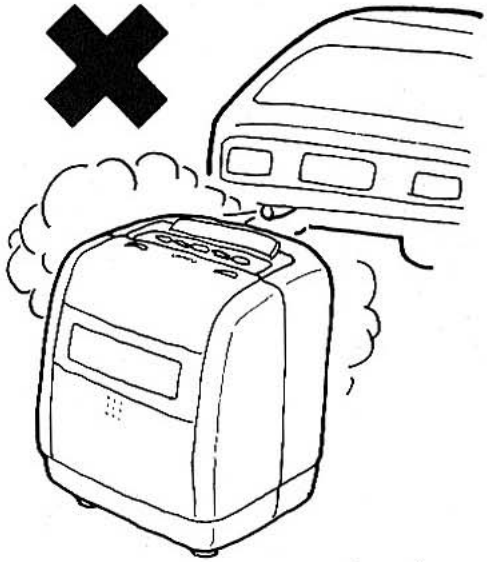
a）直射日光の当たる場所やヒータ等の熱源に近い場所

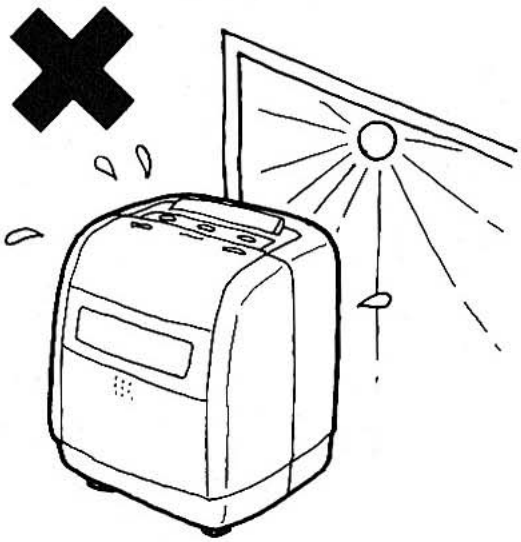
b）ホコリや湿気の多い場所

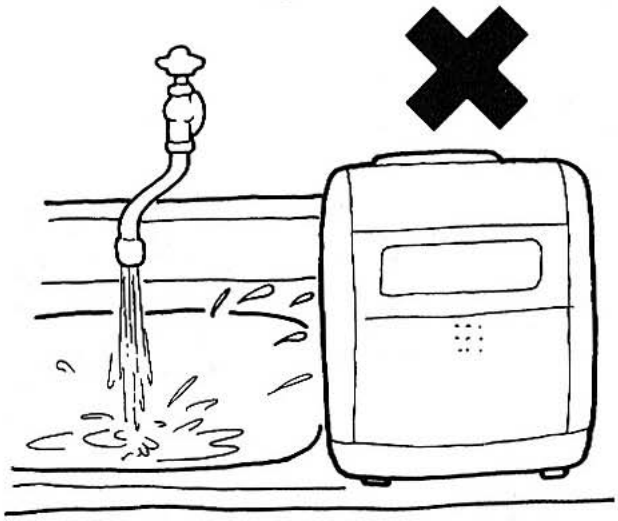
c）温度が0℃以下、40℃以上になる場所

d）傾いたり、振動・衝撃がくわわる場所

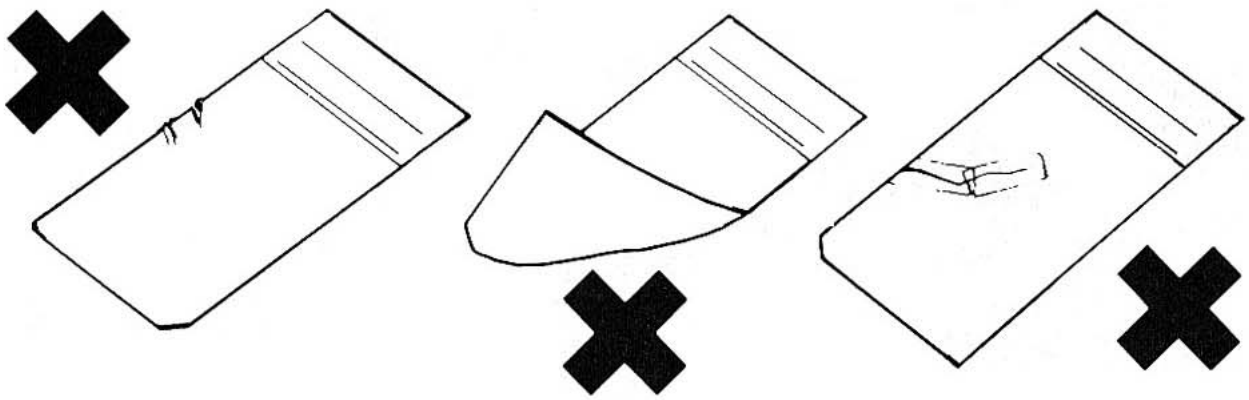








③専用タイムカード以外は、絶対に機械に入れないでください。
また、折れ曲がったり、破れているカードも使用しないでください。



④ご使用にならないときは、フタをするようにしてください。

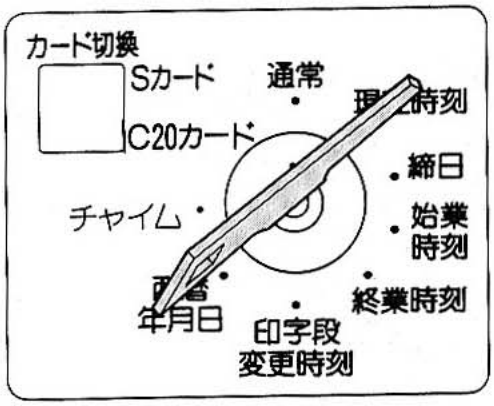
⑤本体の汚れを落とす際は、乾いた布でふいてください。汚れがひどい場合は、市販のプラスチッククリーナーまたは、中性洗剤にひたした布を固く絞ってふいてください。シンナーやベンジンなどは使用しないでください。

⑥機械の分解・改造をしないでください。

# 4 時計の合わせ方

時計は工場出荷時にセットしてあります。
万が一、時計がずれている時は、次の方法で合わせてください。

①内部ＫＢドアを開け、ロータリースイッチに鍵を差し込み、『現在時刻』に合わせます。




②時分を合わせる場合

時刻は24時間制で入力します。入力は４桁で行い、例えば、９時６分のような桁不足の時は、[0][9][0][6]というように、[0]を入力してください。
[SET]キーを押すと、０秒よりスタートします。
数字を入れ間違えた場合やエラーとなった場合は、Ｃキーを押して数字を入れ直してください。

| 入力例 | キー操作 | 表示 |
|---|---|---|
| 午後２時８分 | [1][4][0][8][SET] | 14 08 00 |

③秒を合わせる場合

ａ）00～29秒で、[SET]キーを押すと、00秒より時計はスタートします。

| キー操作 | 表示 |
|---|---|
| | 14 08 26 |
| [SET] | 14 08 00 |

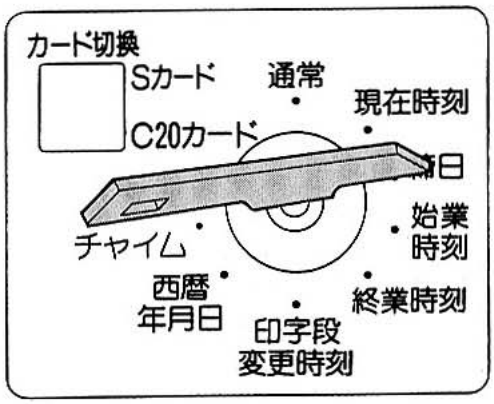
b）30～59秒で、SETキーを押すと、1分進んだ00秒よりスタートします。

| キー操作 | 表示 |
| --- | --- |
| | 14 08 32 |
| SET | 14 09 00 |

# 5 締日の合わせ方

締日が20日締めの場合は、既にセットされていますのでセット不要です。
20日以外の場合には、次の方法で入力してください。

①内部ＫＢドアを開け、ロータリースイッチに
鍵を差し込み、『締日』に合わせます。



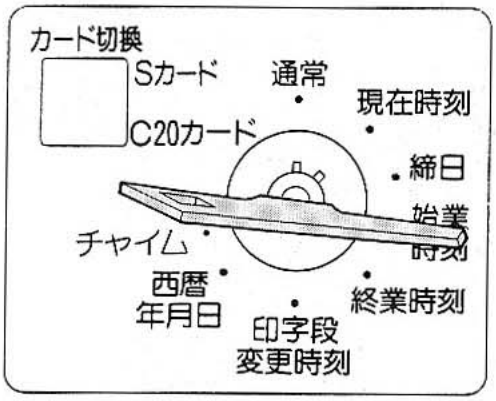

②入力は２桁で行ないます。不足の場合は [0] を入れてください。
月末締めの場合は、[3] [1] と入力してください。
数字を入れ間違えた場合やエラーとなった場合は、[C] キーを押して数字を入れ直してください。

| 入力例 | キー操作 | 表示 |
|---|---|---|
| 15日締め | [1] [5] [SET] | 15 |

# 6 始業時刻の合わせ方

始業時刻が決まっている場合にセットしてください。始業時刻を過ぎて出勤した場合は、遅刻として時刻の右に『チ』を印字します。

①内部ＫＢドアを開け、ロータリースイッチに鍵を差し込み、『始業時刻』に合わせます。



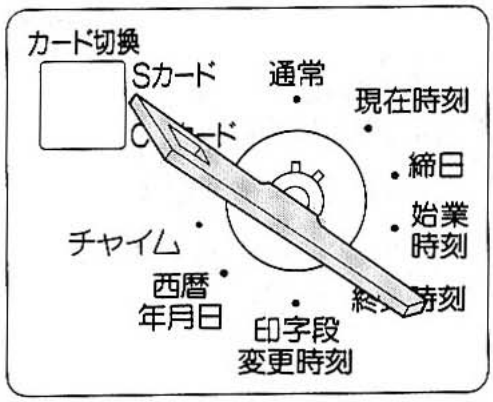

②24時間制で入力し、桁不足の場合は［０］を入れてください。
数字を入れ間違えた場合やエラーとなった場合は、［Ｃ］キーを押して数字を入れ直してください。

| 入力例 | キー操作 | 表示 |
|---|---|---|
| 午前９時 | ［０］［９］［０］［０］［SET］ | 0900 |

# 7 終業時刻の合わせ方

終業時刻が決まっている場合にセットしてください。終業時刻より前に退出した場合は、早退として時刻の右に『ソ』を印字します。終業時刻を過ぎると、操作ボタンのランプは、出勤から退出に移動します。

①内部ＫＢドアを開け、ロータリースイッチに鍵を差し込み、『終業時刻』に合わせます。



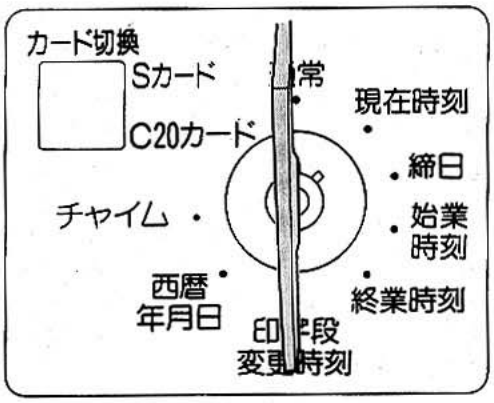

②24時間制で入力し、桁不足の場合は［0］を入れてください。
数字を入れ間違えた場合やエラーとなった場合は、［C］キーを押して数字を入れ直してください。

| 入力例 | キー操作 | 表示 |
|---|---|---|
| 午後５時30分 | ［1］［7］［3］［0］［SET］ | 1730 |

# 8 印字段変更時刻の合わせ方

深夜３時をまたいで働く場合にセットしてください。
例えば、早朝の５時に印字段変更時刻をセットしたとすると、退出が４時59分までは出勤の印字と同じ印字段に印字します。
深夜３時をまたいで働くことのない場合は、セットする必要がありません。

①内部ＫＢドアを開け、ロータリースイッチに鍵を差し込み、『印字段変更時刻』に合わせます。




②24時間制で入力し、桁不足の場合は [0] を入れてください。
数字を入れ間違えた場合やエラーとなった場合は、[C] キーを押して数字を入れ直してください。

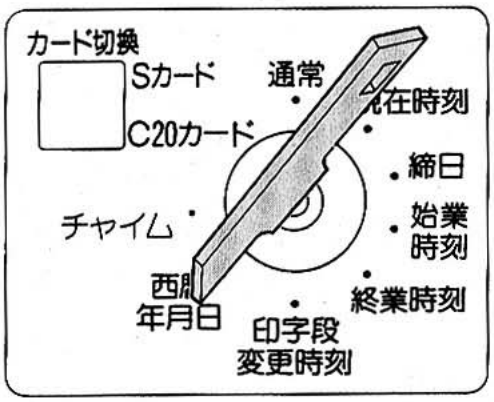
| 入力例 | キー操作 | 表示 |
|---|---|---|
| 朝６時 | [0] [6] [0] [0] [SET] | 06 00 |

※朝６時を過ぎると、印字段が１段下がります。

# 9 西歴年・月・日の合わせ方

出荷時にセットしてありますので、セットする必要はありません。
万が一、セットが必要な場合には、次の方法で入力してください。

①内部ＫＢドアを開け、ロータリースイッチに鍵を差し込み、『西暦年・月・日』に合わせます。



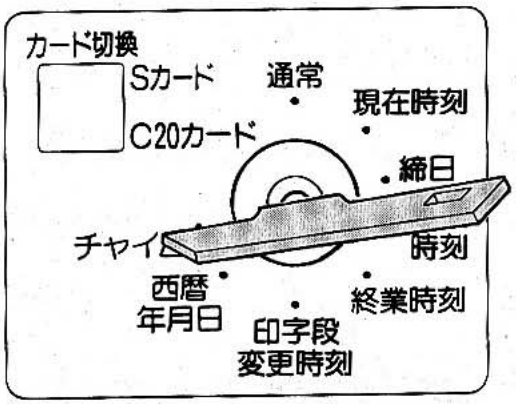

②西暦年の下２桁と月日の４桁の合わせて６桁で入力します。桁不足の場合は[0]を入れてください。
数字を入れ間違えた場合やエラーとなった場合は、[C]キーを押して数字を入れ直してください。

| 入力例 | キー操作 | 表示 |
|---|---|---|
| 1991年4月1日 | [9][1][0][4][0][1] [SET] | 910401 |

# 10 チャイムの設定

内蔵チャイム（または、ベル・ブザーなどの外部時報）の吹鳴時刻をセットしてください。
また、時刻以外に、外部時報に接続した場合は、その吹鳴時間をセットできます。

①内部ＫＢドアを開け、ロータリースイッチに鍵を差し込み、『チャイム』に合わせます。




②吹鳴時刻を合わせる場合

小さい表示管の数字（01～16）が、セットする吹鳴時刻のナンバーとなります。
24時間制で入力し、桁不足の場合は [0] を入れてください。
入力後、[▲] キーを押しナンバーを進め、別の時刻をセットしてください。
数字を入れ間違えた場合やエラーとなった場合は、[C] キーを押して数字を入れ直してください。

| 入力例 | キー操作 | 表示 |
|---|---|---|
| 吹鳴時刻９時 | [0] [9] [0] [0] [SET] | 0900 01 |
| （別の時刻をセットする） | [▲] | 002 |
| 吹鳴時刻 12時 | [1] [2] [0] [0] [SET] | 1200 02 |

③外部時報の吹鳴時間を合わせる場合

[▲]キーを押して行き小さい表示管の数字が〝00〟の場所に吹鳴時間をセットしてください。

初期値は5秒で、セットは秒単位で1秒～99秒までできます。入力は2桁で行い桁不足の場合は[0]を入れてください。

数字を入れ間違えた場合やエラーとなった場合は、[C]キーを押して数字を入れ直してください。

| 入力例 | キー操作 | 表示 |
|---|---|---|
| (吹鳴時刻) | | 016 |
| (吹鳴時間をセットする) | [▲] | 0500 |
| 吹鳴時間15秒 | [1] [5] [SET] | 1500 |

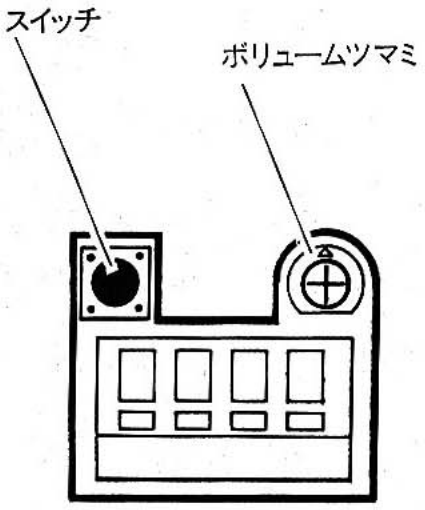
但し、内臓のチャイムの吹鳴時間を変えることはできません。

■内臓チャイムの音量調整

本体背面のネジを⊕ドライバーではずし、フタをはずします。(外部時報の接続参照)

白いボリュームツマミを⊕ドライバーで回して調整してください。右へ回すと音は大きくなり、左へ回すと小さくなります。

黒いスイッチを押すとチャイムがなります。



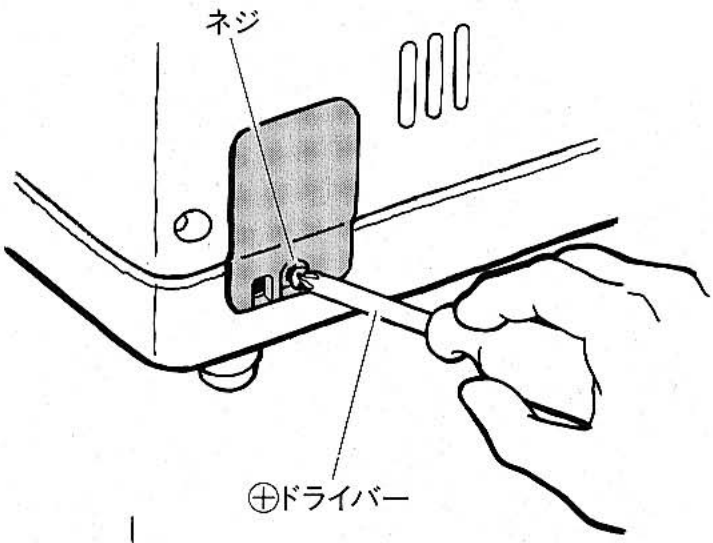
# 11 外部時報の接続

セットした吹鳴時刻に、外部のベル・ブザー・チャイムなどを鳴らす場合は、次のように接続してください。

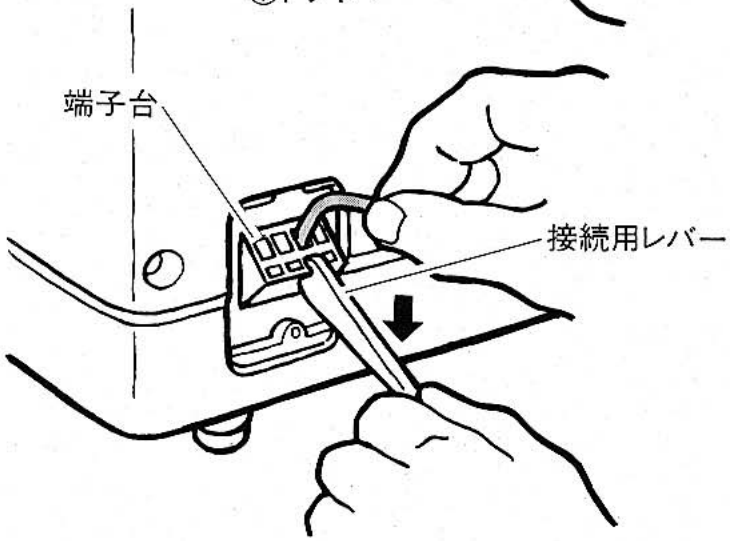
〔接点出力〕無電圧接点出力　または AC100V接点出力
〔接点容量〕 AC 125V　　5A以下
　　DC　30V　　5A以下

①電源コードをコンセントからはずします。

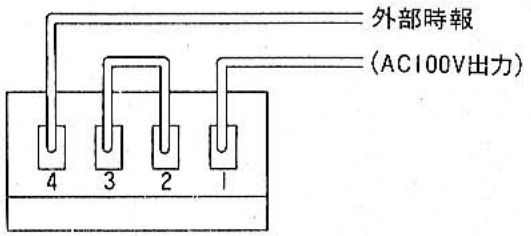
②本体背面のネジを⊕ドライバーではずし、フタをはずします。



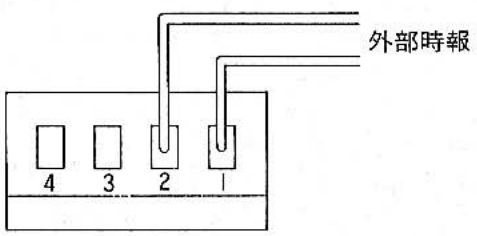

③付属の接続用レバーを使って図のように、端子台にワイヤーを接続します。



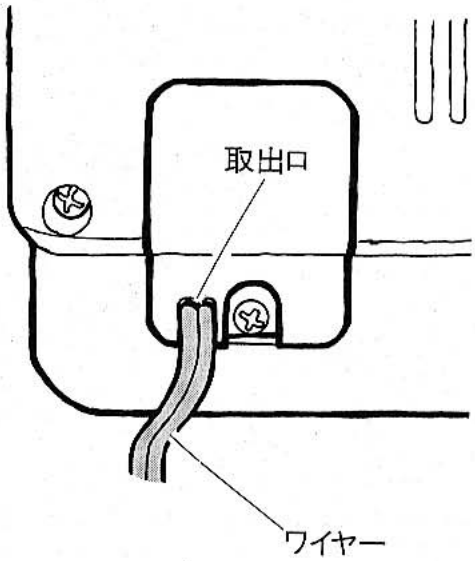

a）タイムレコーダからAC電源を供給し、ベル･ブザーなどに接続するとき




b）タイムレコーダを接点とし、チャイムなどに接続するとき



④ワイヤーを図のように取出口から出し、
フタをします。



# 12 ご使用方法

## ■タイムカードの選択

カードの切換スイッチで、使用するタイムカードを選択してください。
Sカードの場合、途中の退・出欄に外出・再入の印字をします。

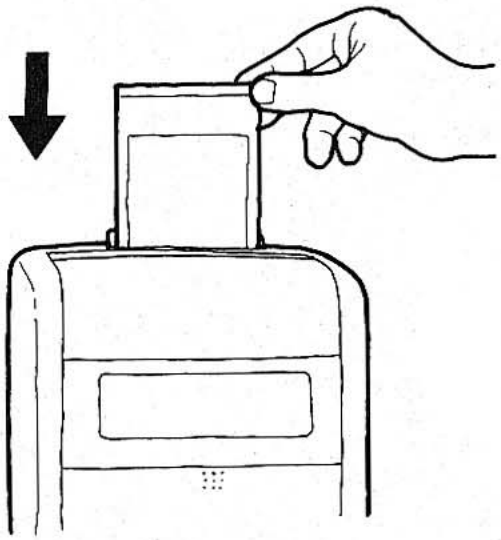
| | (出勤) | (外出) | (再入) | (退出) | |
|---|---|---|---|---|---|
| 日付 | 出 | 退 | 出 | 退 | 備考 |
| | | | | | |
| | | | | | |

(Sカード使用のとき)

## ■日常のご使用

タイムカードは自動送りされるまで、軽く差し込んでください。カードを適正位置まで引き込んで、印字後はき出します。
タイムカードの向きを間違えると、"ピッ、ピッ"とエラー音がしてカードがはき出されます。

**注) タイムカードを強く押し込んだり、自動送り中や印字中にカードを引き抜いたりしないでください。**



### ①出勤の場合

出勤のランプが点灯していることを確認し、タイムカードを入れてください。
始業時刻がセットしてある場合は、始業時刻を過ぎてカードを入れると、遅刻として自動的に時刻の右に『チ』を印字します。

| 日付 | 出 | 退 | 出 | 退 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 21月 | 8:40 | | | | |
| 22火 | 9:15チ | | | | |

(始業時刻9時のとき)

②退出の場合

退出のランプが点灯していることを確認し、タイムカードを入れてください。
終業時刻がセットしてある場合は、終業時刻を過ぎるとランプが退出に移動し、終業時刻より前に印字をすると、早退として自動的に時刻の右に『ソ』を印字します。

| 日付 | 出 | 退 | 出 | 退 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 21月 | 8:40 | | | 17:30 | |
| 22火 | 9:15チ | | | 15:40ソ | |

（終業時刻17時のとき）

③早出の場合

必ず早出のボタンを押して、タイムカードを入れてください。
カードを入れると、早出のマークとして『ハ』を時刻の右に印字します。

| 日付 | 出 | 退 | 出 | 退 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 21月 | 6:40ハ | | | | |
| | | | | | |

④残業の場合

必ず残業のボタンを押して、タイムカードを入れてください。
カードを入れると、残業のマークとして『ザ』を時刻の右に印字します。

| 日付 | 出 | 退 | 出 | 退 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 21月 | 6:40ハ | | | 19:30ザ | |
| | | | | | |

⑤外出の場合

途中外出する場合には、必ず外出のボタンを押して、タイムカードを入れてください。

| 日付 | 出 | 退 | 出 | 退 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 21月 | 6:40ハ | 11:45 | | | |
| | | | | | |

⑥再入の場合

途中外出から戻った場合には、必ず再入のボタンを押して、タイムカードを入れてください。

| 日付 | 出 | 退 | 出 | 退 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 21月 | 6:40ハ | 11:45 | 12:55 | | |
| | | | | | |

⑦休日印字の場合

休日出勤を区別する場合には、休日ボタンを押して休日のランプを点灯させ、タイムカードを入れてください。

休日印字として、日付・時刻を赤で印字します。（日付は出勤時のみ印字）

休日は遅刻・早退の判別は行いません。

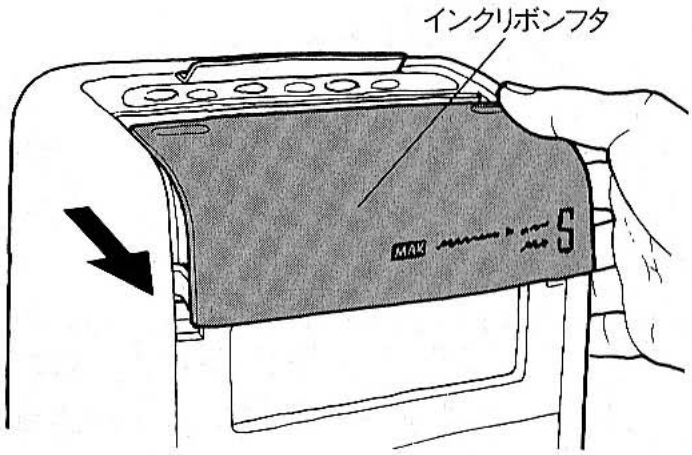
休日のランプは、再び休日ボタンを押すか、または印字段変更時刻を過ぎるまで点灯したままです。

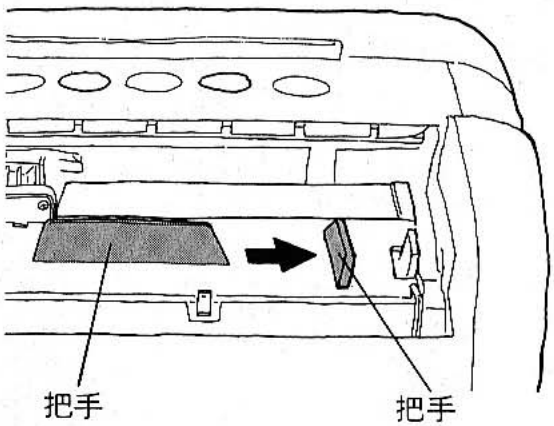
# 13 インクリボンの交換

インクリボンは専用リボンカセットER-IR102をご使用ください。

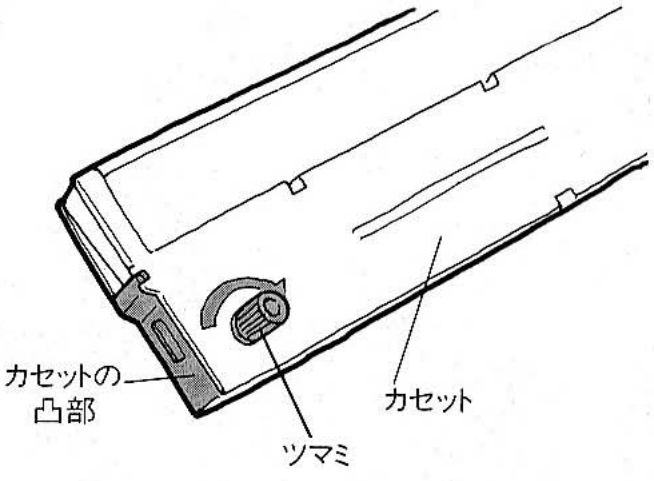
①電源コードをコンセントからはずします。

②インクリボンフタを手前にはずし、リボンカセットの大きな把手と小さな把手の間に右手の親指を入れ、外側(小さな把手側)に押しつけます。カセットの左側がはずれたら、大きな把手を持ち、上に引き上げます。

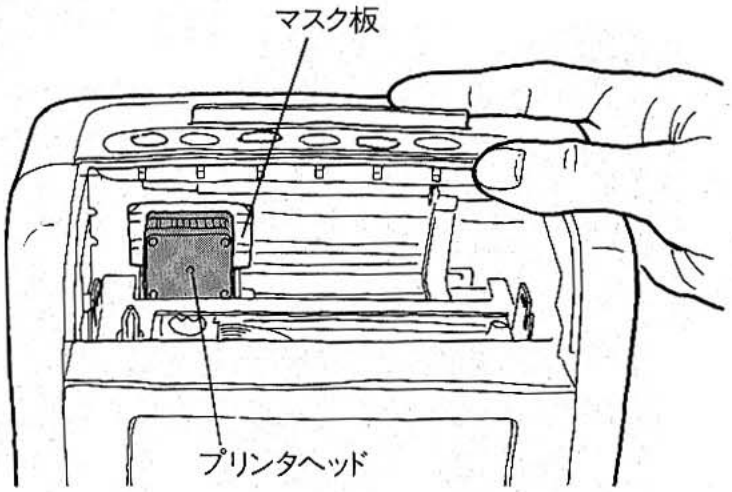


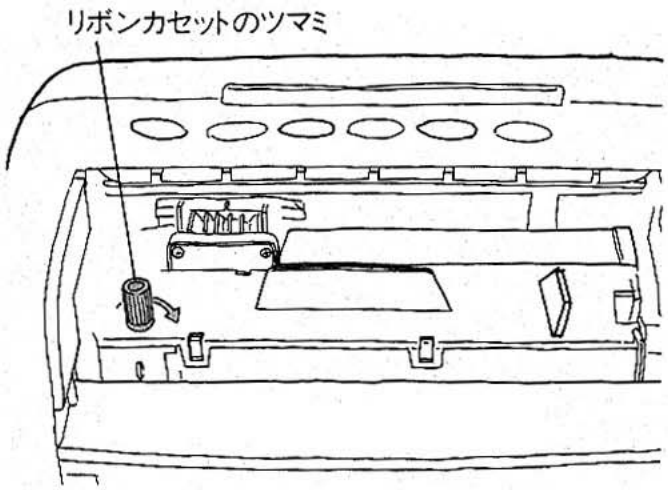

③新しいリボンカセットを取り出し、ツマミを矢印の方向に回して、リボンのたるみを取ります。



④リボンがプリンタヘッドとマスク板の間になるように入れます。次にカセットの凸部をカセットガイドの左右の溝に合わせセットします。




⑤リボンカセットのツマミを矢印の方向に回して、リボンのたるみを取ります。この時、リボンが正しくセットされているか、リボンのねじれがないか確認してください。




⑥電源コードを差し込み、タイムカードを入れて正しく印字されるか試してください。印字が正常ならば、インクリボンフタを付けてください。

## 14 故障と間違いやすい現象と確認方法

| | |
|---|---|
| ①表示がされない | ⇨電源プラグがコンセントに差し込まれていますか<br>⇨元電源は入っていますか |
| ②時刻表示をしない | ⇨鍵が『通常』の位置で抜かれていますか |
| ③カードが入らない | ⇨カードの表裏が間違っていませんか<br>⇨カードの曲がり、破損はないですか<br>⇨鍵が『通常』の位置になっていますか |
| ④印字の段がずれる | ⇨カードを強く押し込んでいませんか<br>⇨印字途中でカードを引き抜いていませんか<br>⇨カードが引き込まれたあともカードを持っていませんか |
| ⑤印字の位置が横にずれる | ⇨タイムカードの切換スイッチが、使用カードになっていますか |
| ⑥印字がうすい | ⇨インクリボンを長期間使用していませんか<br>（リボンカセットは１年から１年半で交換してください）<br>⇨０℃以下で使用していませんか |
| ⑦設定ができない | ⇨数字を入力後、[SET]キーを押していますか |

## 15 エラーコード

| エラーコード | 内　容 | 処　置 |
|---|---|---|
| E-00 | 自動送りされる位置まで、タイムカードが入っていない。 | タイムカードが自動送りされるまで、軽く差し込んでください。 |
| E-01 | カードの表裏が間違っている。 | カードを正しい向きで入れてください。 |
| E-10 | 入力した桁数が不足しています。 | [C]キーを押しエラーを解除します。<br>桁不足の場合は、[0]を入力してください。 |
| E-11 | ありえない時刻、日などを入力しています。 | [C]キーを押しエラーを解除します。<br>正しい時刻、日を入力してください。 |
| E-69 | 自動送りされても、カードがスムーズに入っていかない。 | カードが自動送りされたら、手をはなしてください。<br>カードの曲がりなどがないか確認してください。 |
| E-EE | プリンタの異常 | 電源プラグを抜き差ししてください。 |

# 16 主な仕様

| | |
|---|---|
| 名　　称 | マックス電子タイムレコーダ ER-25S |
| 電　　源 | AC100V 50/60Hz |
| 外形寸法 | 201(W)×145(D)×238(H)mm |
| 重　　量 | 3.5kg |
| 消費電力 | 通常 10W・最大 30W |
| 時計機構 | 水晶発振式 月差±15秒(常温) |
| 表示内容 | 日付、時、分、AM/PM、曜日 |
| 印字内容 | 日付、曜日、時分(4欄)、チ・ソ・ハ・ザマーク |
| 停電時保障 | メモリーバックアップ、時計の歩進を工場出荷時より停電累計3年間 |
| タイムカード | ER-Sカード又はER-C20 |
| インクリボン | ER-IR102 |
| 使用温度 | 0℃～40℃ |
| 保存温度 | −20℃～60℃ |
| 付　属　品 | 鍵2ヶ、取扱説明書、保証書、外部時報接続用レバー |

●本機についてのお問い合わせ、修理の際は最寄の弊社営業所、サービスステーション(SS)までお願いいたします。

●この取扱説明書は機能向上のため、予告なしに変更することがあります

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

MAX

支店・店・営業所

| | | | |
|---|---|---|---|
| 本社・OP営業部 | 〒103 | 中央区日本橋箱崎町6－6 | TEL (03)3669-8108㈹ |
| 東京支店 | 〒103 | 中央区日本橋箱崎町6－6 | TEL (03)3669-8141 |
| 札幌店 | 〒060 | 札幌市中央区大通り東6－12－8 | TEL (011)261-7141 |
| 仙台店 | 〒983 | 仙台市若林区卸町東2－1－29 | TEL (022)236-4121 |
| 名古屋支店 | 〒461 | 名古屋市東区徳川1－11－23 | TEL (052)935-8531 |
| 大阪支店 | 〒553 | 大阪市福島区玉川1－3－18 | TEL (06)444—2031 |
| 広島店 | 〒733 | 広島市西区南観音7－11－24 | TEL (082)291-6331 |
| 福岡支店 | 〒812 | 福岡市博多区上牟田1－5－1 | TEL (092)411-5416 |
| 盛岡営業所 | 〒020 | 盛岡市仙北町下野18－1 | TEL (0196)35-5575 |
| 郡山営業所 | 〒963-02 | 郡山市大槻町字谷地50－7 | TEL (0249)61-0746 |
| 多摩営業所 | 〒187 | 小平市小川町2－1253 | TEL (0423)44-6268 |
| 北九州営業所 | 〒802 | 北九州市小倉北区白銀2-10-2徳増ビル1F | TEL (093)931-3733 |
| 南九州営業所 | 〒891-01 | 鹿児島市上福元町2578-1サンアベニュー1F | TEL (0992)69-5347 |

販売会社

| | | | |
|---|---|---|---|
| 新潟マックス㈱ | 〒955 | 三条市東裏館2－14－28 | TEL (0256)34-2112 |
| 茨城マックス㈱ | 〒310 | 水戸市松ヶ丘2－3－27 | TEL (0292)55-3761 |
| 群馬マックス㈱ | 〒379-22 | 佐波郡赤堀町大字今井543－2 | TEL (0270)62-1123 |
| 埼玉マックス㈱ | 〒331 | 大宮市日進町3－421 | TEL (048)651-5341 |
| 千葉マックス㈱ | 〒284 | 四街道市大日1870－1 | TEL (043)422-7400 |
| 横浜マックス㈱ | 〒241 | 横浜市旭区さちが丘7－6 | TEL (045)364-5661 |
| 長野マックス㈱ | 〒390 | 松本市笹部1－6－25 | TEL (0263)26-4377 |
| 静岡マックス㈱ | 〒422 | 静岡市敷地1－3－26 | TEL (054)237-6116 |
| 金沢マックス㈱ | 〒921 | 金沢市森戸2－15 | TEL (0762)40-1871 |
| 京滋マックス㈱ | 〒612 | 京都府京都市伏見区竹田段ノ川原町9 | TEL (075)645-5061 |
| 岡山マックス㈱ | 〒702 | 岡山市福富中1－6－14 | TEL (086)264-9581 |
| 四国マックス㈱ | 〒761 | 高松市上天神町761－3 | TEL (0878)66-5599 |

サービスステーション

| | | | |
|---|---|---|---|
| マックスサービス㈱東京 | 〒103 | 中央区日本橋箱崎町6－6 | TEL (03)3664-8501 |
| マックスサービス㈱大阪 | 〒553 | 大阪市福島区玉川1－3－18 | TEL (06)446-0815 |
| マックスサービス㈱名古屋 | 〒461 | 名古屋市東区徳川1－11－23 | TEL (052)935-8210 |
| マックスサービス㈱福岡 | 〒812 | 福岡市博多区上牟田1－5－1 | TEL (092)451-6430 |
| マックスサービス㈱広島 | 〒733 | 広島市西区南観音7－11－24 | TEL (082)291-5670 |
| マックスサービス㈱仙台 | 〒983 | 仙台市若林区卸町東2－1－29 | TEL (022)237-0778 |
| マックスサービス㈱札幌 | 〒060 | 札幌市中央区大通東6－12－8 | TEL (011)231-6487 |

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。